

大阪マラソン組織委員会（第29回）

- ・と き 令和2年2月10日（月）
午後2時30分から午後3時15分まで
- ・ところ シティプラザ大阪 2階 「燦」

次 第

1 開 会

2 議 事

（議題1）大阪マラソン組織委員会設置要綱の一部改正について

（報告1）第9回大阪マラソンの結果概要について

- ・第9回大阪マラソンの結果報告について
- ・第9回大阪マラソン参加ランナー・観客・ボランティアへのアンケート調査結果（抜粋）
- ・「第9回大阪マラソン」経済波及効果

（議題2）第10回大阪マラソンの実施について（案）

- ・第10回大阪マラソン・大会要項概要
- ・第10回大阪マラソン・チャリティ事業について
- ・第10回大阪マラソン・ボランティアについて
- ・今後の主なスケジュール

（報告2）第10回大阪マラソン・ランナー募集ポスターについて

3 閉 会

<配布資料>

- ・配席図
- ・出席委員名簿
- ・資料1：大阪マラソン組織委員会設置要綱
- ・資料2：第9回大阪マラソンの結果概要について
- ・資料3：第10回大阪マラソンの実施について
- ・資料4：第10回大阪マラソン・ランナー募集ポスターについて

随行者傍聴席
椅子2列計(34)

一般傍聴者席
椅子 2列計(16)

委員受付・
一般傍聴受付・
プレス受付

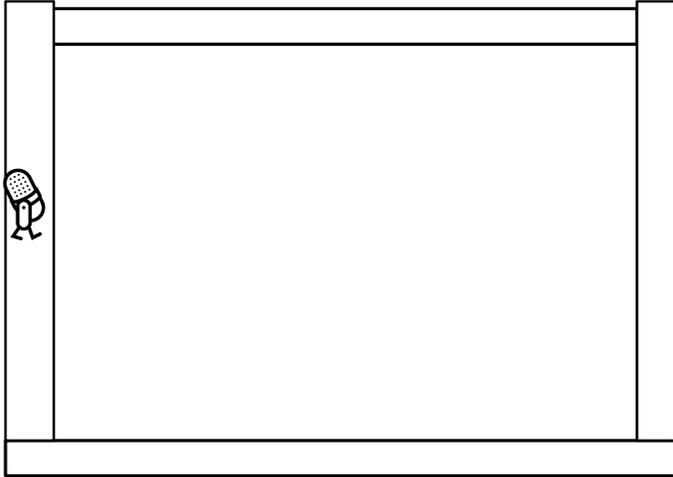
橋本委員(代)
宮川委員
森浦委員(代)
池田委員
梶川委員(代)
斉喜委員

山本副会長

松本会長

山口副会長

竹内副会長



西谷委員(代)

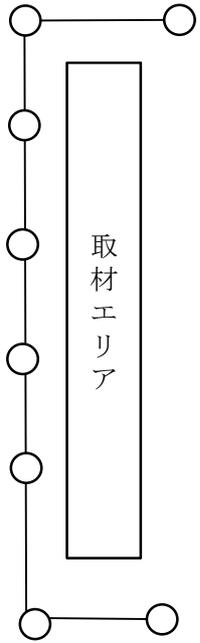
竹内委員

橋爪委員

石田委員

多田委員(代)

藤木委員(代)



入口

荒木委員
岡本委員
柏木委員
讃岐委員
宮木委員(代)
近藤監事



説明者席
椅子(6) マイク(ワイヤレス(2)/有線(1))

スポンサー関係者
椅子2列計(16)

スポンサー関係席
2列計(16)

出席委員名簿 大阪マラソン組織委員会(第29回)

役職	氏名	所属
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長、 公益社団法人関西経済連合会会長
副会長	山口 信彦	大阪府副知事
副会長	山本 剛史	大阪市副市長
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員(代理)	橋本 誠司	読売新聞大阪本社取締役事業本部長
委員	宮川 晴美	大阪市地域振興会会長
委員(代理)	森浦 進	大阪市商店会総連盟事務局長
委員	池田 博之	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
委員(代理)	梶川 哲郎	公益財団法人大阪府スポーツ協会事務局長
委員	斉喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員(代理)	西谷 真諭樹	大阪市スポーツ協会事務局長
委員	竹内 隆義	大阪市体育厚生協会会長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ協会会長
委員	石田 易司	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員(代理)	多田 敦司	国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第一課長
委員(代理)	藤木 純一郎	国土交通省近畿運輸局観光部観光戦略推進官
委員(代理)	宮木 一寛	阪神高速道路株式会社経営企画部次長
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部長
委員	柏木 陸照	大阪市経済戦略局長
委員	讃岐 富男	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	荒木 誠	株式会社オプテージ代表取締役社長
監事	近藤 博宣	大阪商工会議所常務理事・事務局長

欠席者

顧問：吉村大阪府知事、松井大阪市長、三田大阪府議会議長、広田市会議長

委員：大阪府商店街連合会会長・大阪府商店街振興組合連合会理事長 辰野委員

大阪商工会議所会頭 尾崎委員

公益財団法人大阪観光局会長 福島委員

大阪府体育連合会会長 澤井委員

大阪市スポーツ推進委員協議会会長 八町委員

一般社団法人大阪府医師会会長 茂松委員

大阪府教育委員会教育長 酒井委員

監事：一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長 西内事務局長

※ご欠席の委員の方々からは、会長あての委任状をいただいております。

(議題 1 : 大阪マラソン組織委員会設置要綱の一部改正について)

大阪マラソン組織委員会設置要綱中、次の表の改正前の欄に掲げる規定を、同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後			改正前		
別表 (第 3 条関係)			別表 (第 3 条関係)		
役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
副会長	<u>山口 信彦</u>	大阪府副知事	副会長	新井 純	大阪府副知事
副会長	<u>山本 剛史</u>	大阪市副市長	副会長	<u>鍵田 剛</u>	大阪市副市長
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

大阪マラソン組織委員会設置要綱

(設置)

第1条 大阪マラソン開催に必要な事業・運営計画の検討・実施など、その具体的な開催業務を推進していくため、大阪マラソン組織委員会(以下、「委員会」と言う。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 大阪マラソン開催にかかる事業・運営計画の検討・実施及び同マラソンの開催に伴い実施する関連事業の企画・実施
- (2) その他、前項の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

2 委員会に会長、副会長を置き、委員の互選によりこれらを選出する。

(任期)

第4条 委員の任期は令和2年3月31日までとする。

2 委員会の委員は会長が委嘱する。

(会長及び副会長の職務)

第5条 会長は、委員会を代表し、委員会を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する副会長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 会議は委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。
なお、可否同数のときは、議長が決する。
- 3 会議に出席できない委員は、書面または代理人をもって表決に加わることができる。
- 4 前項の場合には、第2項の規定の適用については、出席したものとみなす。
- 5 会議は書面をもって会議に代えることができる。

(関係者の出席)

第7条 委員会が必要であると認めた場合は委員以外の関係者の出席を求め、その意見等を聴取することができる。

(専門部会等の設置)

第8条 委員会の事務を補助させるため、委員会に専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、会長の命を受け、必要な事項を調査検討し、会長に報告する。

(監事)

第9条 事業の適正な執行を確保するため、監事2名を置く。

2 監事は、事業の執行状況及び会計の監査を行い、その結果を委員会に報告する。

3 事業報告書及び収支決算書については、監事による監査を経て、委員会に提出の上、その承認を受けるものとする。

(事務局)

第10条 事業の遂行に必要な事務処理を行うため、大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎35階に事務局を置く。

2 事務局には事務局長その他の職員を置く。

3 事務局長は、会長の命を受け、委員会の業務を総括的に処理する。

4 事務局長は、会長が任命する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な細則等は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年9月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年1月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年2月14日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年5月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年6月7日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年2月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年7月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年8月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年9月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年11月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年9月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年3月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年6月9日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年2月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年6月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年10月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年3月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年6月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年10月7日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年2月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年7月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年11月9日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年6月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年10月31日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年6月17日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年11月11日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 年 月 日から施行する。

別表(第3条関係)

役 職	氏 名	所 属
顧問	吉村 洋文	大阪府知事
顧問	松井 一郎	大阪市長
顧問	三田 勝久	大阪府議会議長
顧問	広田 和美	大阪市会議長
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長、 公益社団法人関西経済連合会会長
副会長	山口 信彦	大阪府副知事
副会長	山本 剛史	大阪市副市長
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員	溝口 烈	読売新聞大阪本社代表取締役社長
委員	宮川 晴美	大阪市地域振興会会長
委員	千田 忠司	大阪市商店会総連盟理事長
委員	辰野 邦次	大阪府商店街連合会会長 大阪府商店街振興組合連合会理事長
委員	尾崎 裕	大阪商工会議所会頭
委員	池田 博之	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
委員	福島 伸一	公益財団法人大阪観光局会長
委員	牧野 明次	公益財団法人大阪府スポーツ協会会長
委員	澤井 宏文	大阪府体育連合会会長
委員	斉喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員	新堂 友衛	大阪市スポーツ協会会長
委員	竹内 隆義	大阪市体育厚生協会会長
委員	八町 慎	大阪市スポーツ推進委員協議会会長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ協会会長

役 職	氏 名	所 属
委員	石田 易司	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員	茂松 茂人	一般社団法人大阪府医師会会長
委員	井上 智夫	国土交通省近畿地方整備局長
委員	八木 一夫	国土交通省近畿運輸局長
委員	幸 和範	阪神高速道路株式会社代表取締役社長
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部長
委員	酒井 隆行	大阪府教育委員会教育長
委員	柏木 陸照	大阪市経済戦略局長
委員	讃岐 富男	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	荒木 誠	株式会社オプテージ代表取締役社長
監事	近藤 博宣	大阪商工会議所常務理事・事務局長
監事	西内 克己	一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長

(報告 1 : 第 9 回大阪マラソンの結果概要について)

- ・ 第 9 回大阪マラソンの結果報告について
- ・ 第 9 回大阪マラソン参加ランナー・観客・ボランティアへのアンケート調査結果（抜粋）
- ・ 「第 9 回大阪マラソン」経済波及効果

第9回大阪マラソンの結果報告について

- 1 大会名 「第9回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2019～」
- 2 開催日 令和元年12月1日（日）
- 3 主催 大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会
- 4 共催 読売新聞社
- 5 主管 一般財団法人大阪陸上競技協会
- 6 運営協力 大阪パラ陸上競技協会
- 7 後援
31 団体 公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪府スポーツ協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市スポーツ協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、読賣テレビ放送株式会社、株式会社毎日放送 <順不同>
- 8 スポンサー
27 企業 株式会社オプテージ
大阪市高速電気軌道株式会社、ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、日本コカ・コーラ株式会社、セイコーホールディングス株式会社、関西大学、読売新聞社、株式会社アドバンスクリエイト、第一生命保険株式会社、株式会社近畿日本ツーリスト関西、株式会社フォトクリエイト、日本通運株式会社、トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社、岩谷産業株式会社、コスモ警備保障株式会社、日清製粉グループ、キョーワ株式会社、株式会社クボタ、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、丸一鋼管株式会社、日本航空株式会社、江崎グリコ株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、ホテルロイヤルクラシック大阪
<順不同>

※サポーター 株式会社 FM802、井村屋株式会社、株式会社 SWAC、株式会社 青木松風庵、株式会社瓢月堂、紀州田辺うめ振興協議会、E I K ADO、山崎製パン株式会社 <順不同>

9 種 目 マラソン (1)登録 (2)一般 (3)車いす

10 参加者等

定 員	32,000人
エントリー (H31.4.5~R1.5.17)	131,337人
出走者数	32,989人 (車いす10人含む)
完走者数	31,594人 (車いす10人含む)
完 走 率	95.8%

《参考：出走者ベース》

(1) 国内都道府県別 (国内参加：27,982人)

① 大阪府 (12,921人[46.2%]) ② 兵庫県 (3,610人[12.9%])

③ 東京都 (1,646人[5.9%])

(2) 国外居住地別 (国外からの参加：5,007人)

①香港 (1,510人) ② 台湾 (1,223人) ③ タイ (743人)

④中国 (308人) ⑤韓国 (199人)

(3) 完走者最高年齢 (フルマラソン)

男性：84歳、女性：82歳

11 参加ボランティア 延べ9,434人

(内訳)コース管理等：8,022人、マラソンEXPO：1,209人、力持ちボランティア(自転車運搬補助業務)：106人、Happy Morning Run：97人

12 制限時間 7時間

13 コース スタート :大阪府庁前
フィニッシュ：大阪城公園内
主な通過点 :造幣局・中之島・御堂筋・京セラドーム大阪・
四天王寺・OBPなど

※公益財団法人日本陸上競技連盟及び

AIMS (国際マラソン・ロードレース協会) 公認コース

14 総事業費 約14.7億円

15 その他

①給水《給水所：15カ所》

(スポーツドリンク：2ℓ：16,800本、500mℓ：34,800本)

(清涼飲料水：1.5ℓ・2ℓ：4,050本)

(水：2ℓ：31,800本)

②給食《給食所：5カ所》

(バナナ：29,100本、ランチパック：33,000個、塩タブレット：15,000個、バラツ栄養食ケーキ：17,000個、スポーツようかん10,000個、乾燥梅肉ソフト10,000個、みるく饅頭32,000個等)

※29.1 km地点では大阪市商店会総連盟が大阪マラソン公式給食エイド『まいどエイド』を運営(ドライフルーツ、おやついなり、たこ焼きなどを提供)

③仮設トイレ等 859基

④大阪マラソン沿道応援イベント『ランナー盛上げ隊!』

(コース沿道11カ所、出演団体：58団体、応援団・

邦楽・ダンス・踊り(よさこい等)・吹奏楽など)

⑤沿道人数 1,330,000人

⑥苦情件数 78件

⑦問い合わせ件数 881件

⑧医事・救護

救護所利用件数：1,047件

(AED使用件数：1件、救急搬送件数：19件)

※救護スタッフ926人

内訳：医師136人・看護師159人(メディカルワーカー含む)、
救急救命士16人、トレーナー101人 など

⑨テレビ中継

12/1

・読売テレビ(YTV) 9:55~11:25 視聴率5.9%

・毎日放送(MBS) 13:00~14:24 視聴率4.5%

・eō光テレビ 8:40~16:10

【大阪マラソン EXPO2019】

1 日 程 令和元年11月29日(金)~12月1日(日)

2 時 間 11:00~20:00(19:30最終入場)

(12月1日は10:00~16:30)

3 場 所 インテックス大阪1・2・3号館(12月1日は大阪城公園)

4 出展社数 90社(企業ブース65社、うまいもん市場25社)

5 入場者数 50,000人(インテックス大阪)

大阪マラソン SEASON TRIAL 2019

【Happy Morning Run】

- 1 概要：海外ランナー等へのおもてなし、国際交流を目的としたファンランイベント。大会前日の土曜日の朝に大阪城公園西の丸庭園で開催
- 2 実施日時：令和元年11月30日（土）
8：30～10：45
- 3 場所：大阪城公園
- 4 内容：Fun Run（約2.2km）※表彰・計測なし
- 5 参加人数：532人



【オプテージ presents ファンラン in 中之島】

- 1 概要：実際のマラソンコースの一部（御堂筋）を使用し、小学生から大人まで参加できるファンランイベント。大会当日の朝、水都大阪を代表する中之島エリアで開催
- 2 実施日時：令和元年12月1日（日）
8：30～11：00
- 3 場所：大阪市役所～土佐堀通～中之島通～大阪市役所
- 4 内容：ファンラン（約1.3km）※表彰・計測なし
- 5 参加人数：437人（個人の部139人、ファミリーの部149組298人）



【チャリティ募金】

区 分	金 額
ランナー参加料入金時の募金（個人@500円×2口以上）	61,946,500円
ファンラン in 中之島 参加料入金時の募金	156,000円
なないろチャリティTシャツ販売による寄付金	21,556,000円
なないろチャリティキャップ販売による寄付金	4,752,000円
チャリティウィンドブレーカー販売による寄付金	12,012,000円
なないろチャリティアームウォーマー販売による寄付金	2,847,000円
ニックネーム入りナンバーカード販売による寄付金	512,600円
大阪マラソン特設サイト募金 （チャリティランナー（達成者975人）による寄付金額含む）	73,733,709円
府内商店街との連携イベントでの募金	44,445円
スポンサーにおける募金	133,857円
大阪マラソン EXPO2019チャリティ募金コーナーでの募金 (11/29,11/30) （令和元年台風第19号災害義援金を除く）	1,116,328円
コース沿道での募金（12/1）	112,124円
太陽の広場での募金（12/1） （令和元年台風第19号災害義援金を除く）	22,248円
大阪マラソンチャリティ寄付先団体の募金活動による寄付金	825,304円
令和元年台風第19号災害義援金 （大阪マラソン EXPO2019チャリティ募金コーナーでの募金(11/29,11/30)、大阪マラソン EXPO2019チャリティオークション(11/30)、太陽の広場での募金(12/1)）	733,940円
オプテージ Presents 10K&Fun RUN での募金	12,940円
大阪スポーツ応援ランナー（大阪府、大阪市計651人）	65,183,001円
合 計	245,699,996円

《第9回大阪マラソン 競技結果》

1. 車いすの部 (男子)

	氏 名	所 属	記 録
1位	やまもと ひろゆき 山本 浩之	福岡	1時間30分55秒
2位	にしだ ひろき 西田 宗城	バカパシフィック(株)	1時間35分17秒
3位	よしだ たかし 吉田 高志	大阪	1時間37分01秒

2. マラソン男子の部

	氏 名	所 属	記 録
1位	アセファ・テフェラ	エチオピア	2時間07分47秒 ※大会新
2位	モハメド・ レダ・アラビ	モロッコ	2時間09分31秒 ※大会新
3位	モハメド・ジアニ	モロッコ	2時間09分44秒 ※大会新

3. マラソン女子の部

	氏 名	所 属	記 録
1位	アベル・ メクリア・ゼネベ	エチオピア	2時間26分29秒 ※大会新
2位	モニカ・ジェプコエチ	バーレーン	2時間28分37秒 ※大会新
3位	サウド・カンブシア	モロッコ	2時間28分56秒 ※大会新

【シカゴマラソン賞】

	氏 名	記 録	備 考
男性1位	なかじま ひろき 中島 弘貴	2時間25分15秒	府在住者、第44回シカゴマ ラソン(2020.10.11)招待
女性1位	なかじま ともみ 中島 知美	2時間44分13秒	

【市民ランナー賞】

	氏 名	記 録	備 考
男性1位	きむら てつや 木村 哲也	2時間21分08秒	招待選手、提携マラソン 代表選手は除く
女性1位	なかじま ともみ 中島 知美	2時間44分13秒	

第9回大阪マラソン 参加ランナー・観客・ボランティアへのアンケート調査結果(抜粋)

大阪マラソン組織委員会

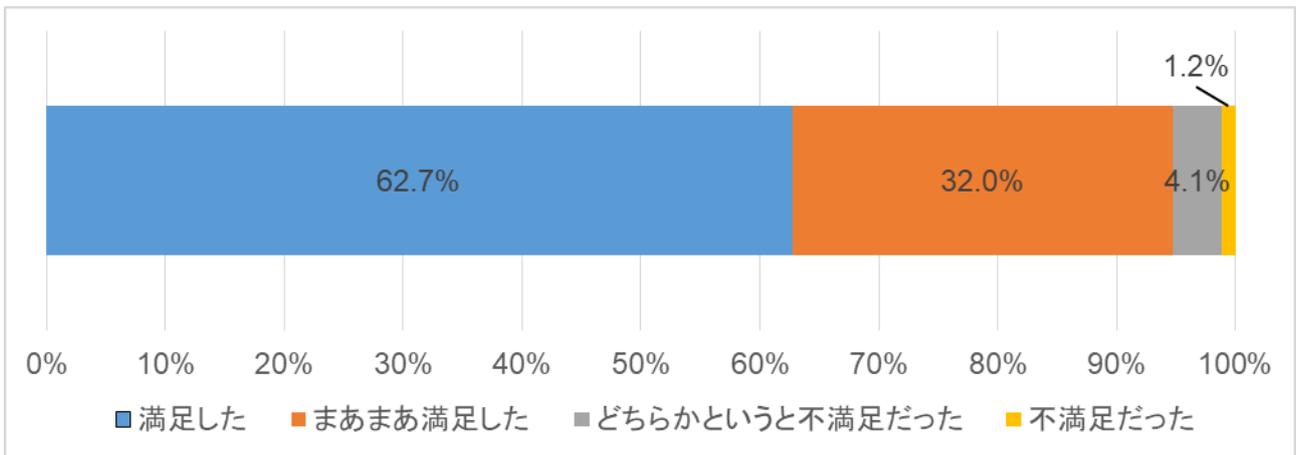
出典:第9回大阪マラソン共同調査研究(関西大学・読売新聞社)

本資料は、第9回大阪マラソンに参加したランナー、観客、ボランティアを対象に、大会参加の意識、大会運営に対する評価、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすると同時に、大阪マラソンの課題を解決し、今後の大会運営に活かすことを目的とする「第9回大阪マラソン共同調査研究」結果を元に作成したものです。

なお、同研究は、大阪マラソン組織委員会が、読売新聞大阪本社と関西大学に共同調査研究を依頼したものです。

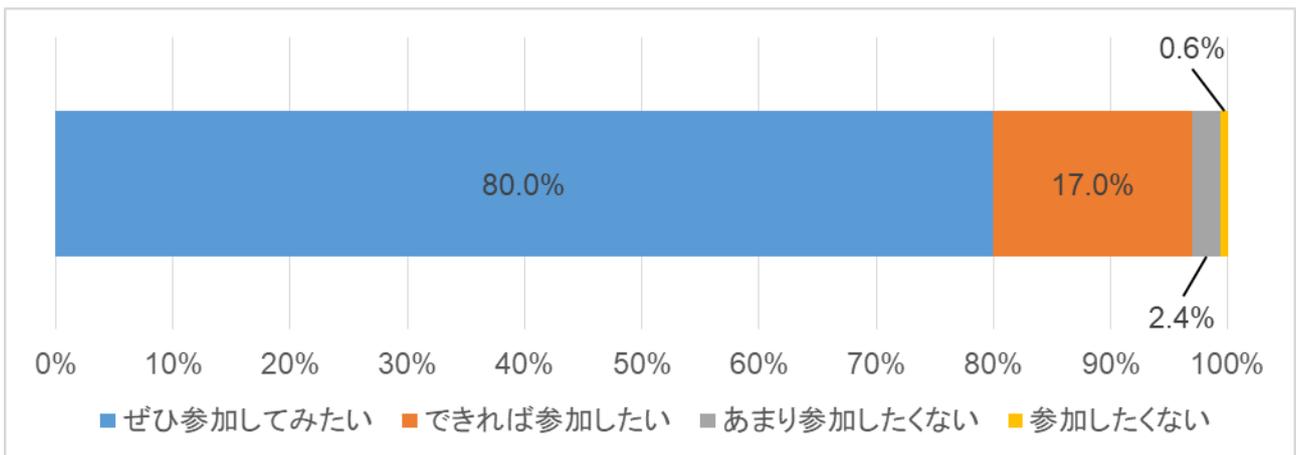
一般ランナー意識調査

■ 第 9 回大阪マラソンに満足しましたか。



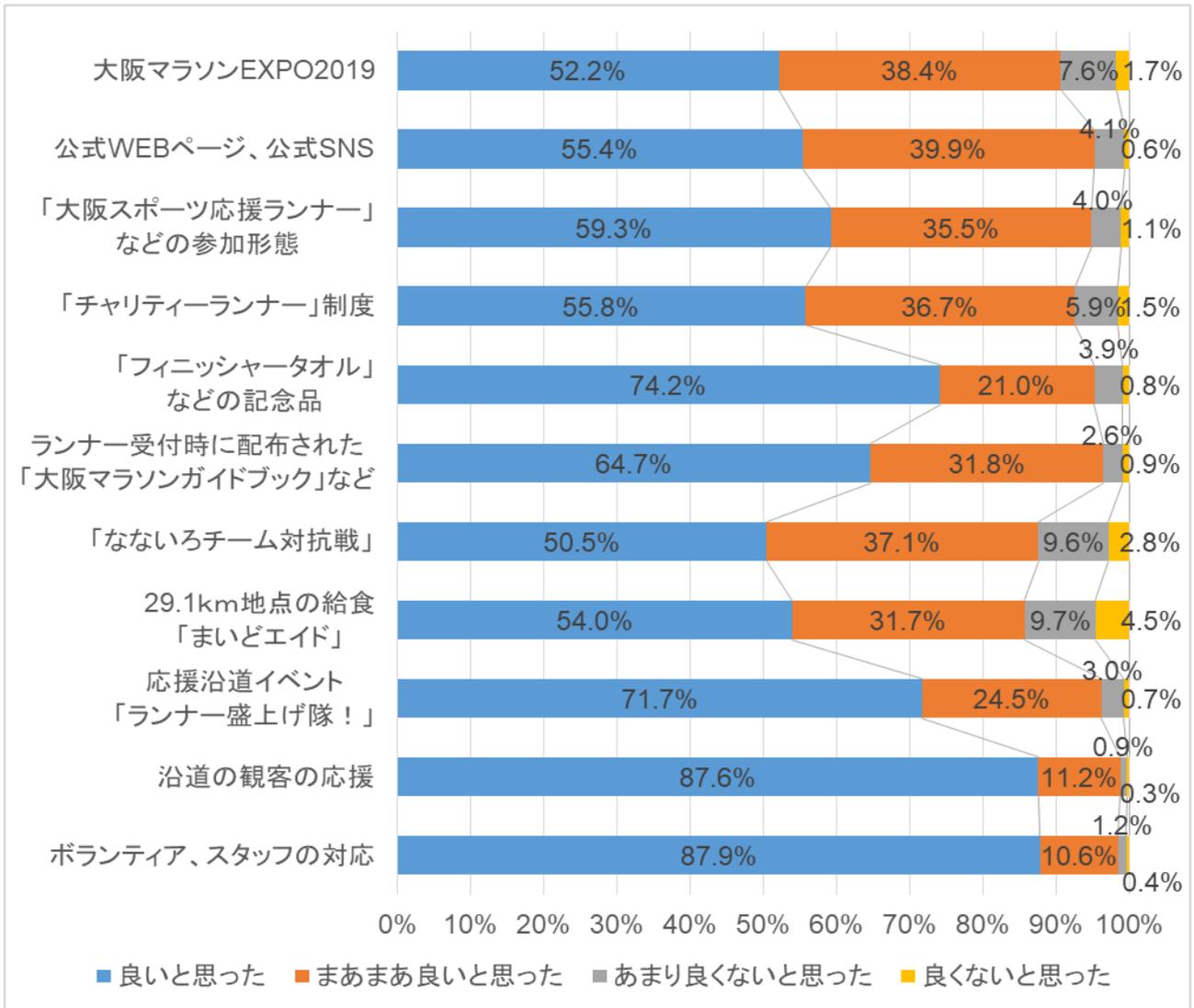
大会の評価については、「満足した」が62.7%（昨年73.4%）、「まあまあ満足した」が32.0%（昨年23.8%）と、満足している人が94.7%（昨年97.2%）であった。

■ 第 10 回大阪マラソンに参加してみたいですか。



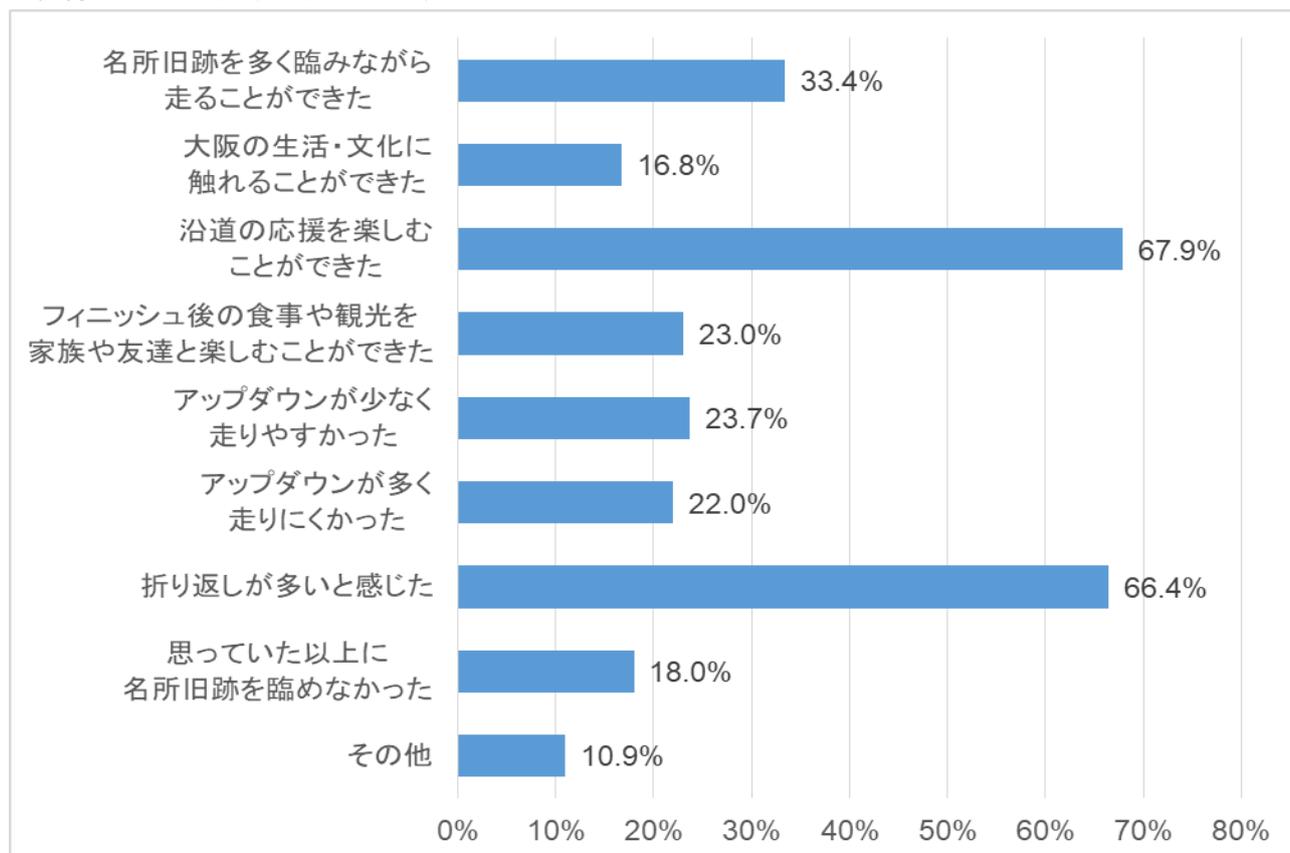
第10回マラソンへの参加については、「ぜひ参加してみたい」が80.0%（昨年85.2%）、「できれば参加したい」が17.0%（昨年12.9%）と、参加したいと回答した人が97.0%（昨年98.1%）であった。

■ 第9回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか。



大阪マラソンの運営については、「良かった」と回答した人の割合だけみると、「ボランティア、スタッフの対応」が87.9%（昨年89.4%）、「沿道の観客の応援」が87.6%（昨年88.5%）、「フィニッシャータオルなどの記念品」が74.2%（昨年82.1%）であった。

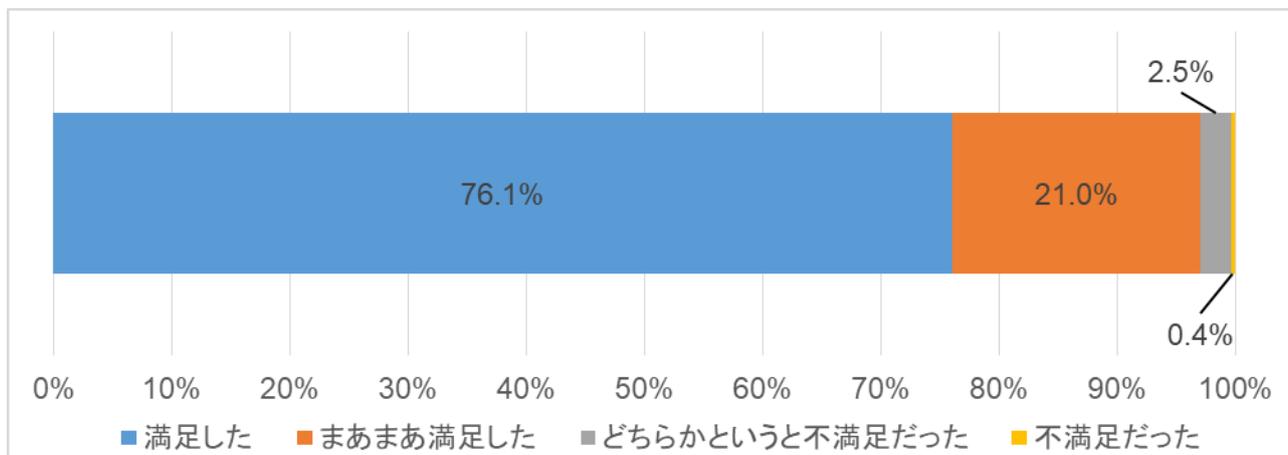
■今大会から大阪マラソンは、大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュというコースに変更となりましたが、実際に走られてどう感じましたか。



コースの変更に伴う感想については、「沿道の応援を楽しむことができた」が 67.9%、「折り返しが多いと感じた」が 66.4%、「名所旧跡を多く臨みながら走ることができた」が 33.4%、「アップダウンが少なく走りやすかった」が 23.7%、「フィニッシュ後の食事や観光を家族や友達と楽しむことができた」が 23.0%であった。

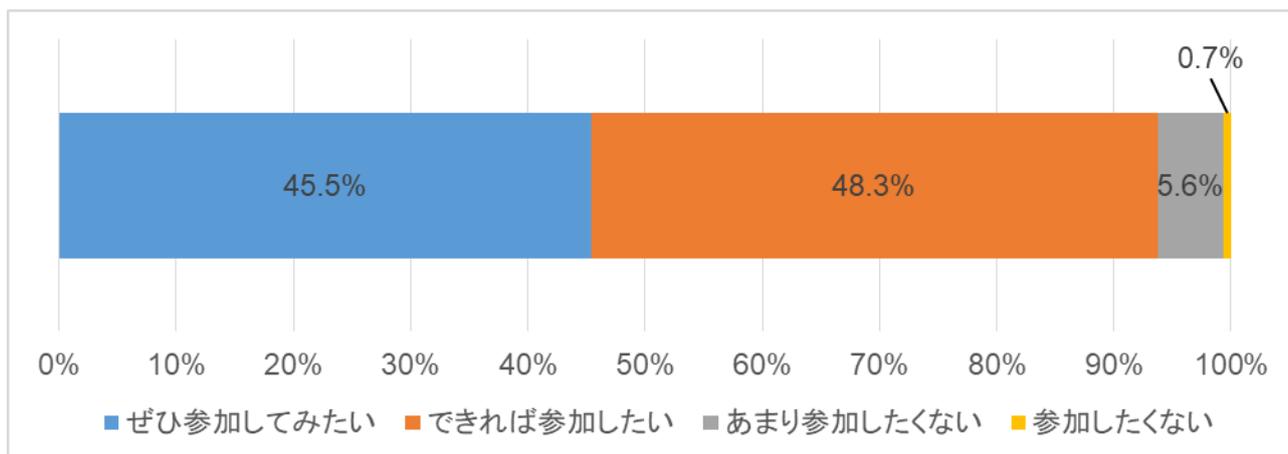
海外ランナー意識調査

■ 第 9 回大阪マラソンに満足しましたか。



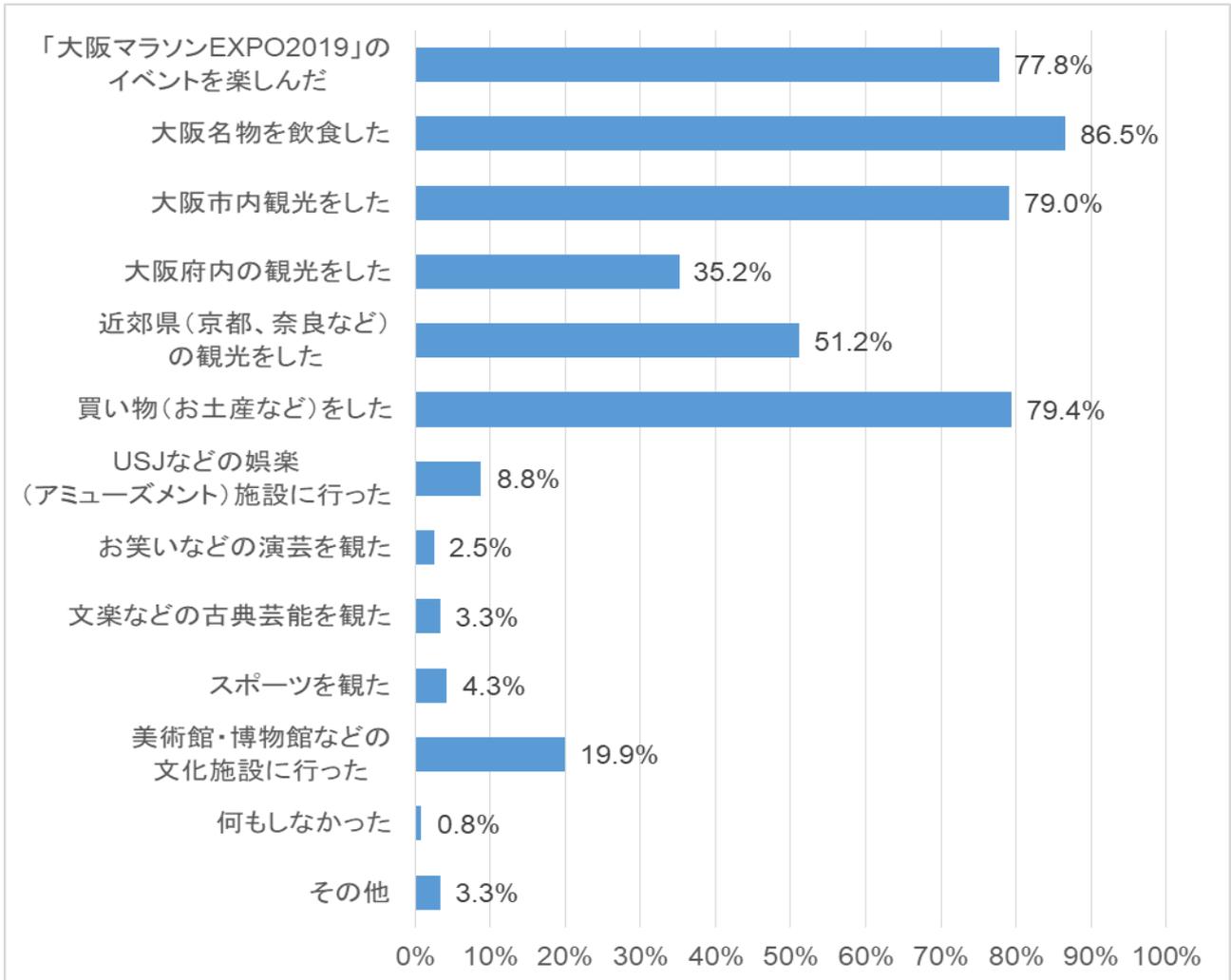
大会の評価については、「満足した」が76.1%（昨年81.1%）、「まあまあ満足した」が21.0%（昨年17.1%）と、満足している人は97.1%（昨年98.2%）であった。

■ 第 10 回大阪マラソンに参加してみたいですか。



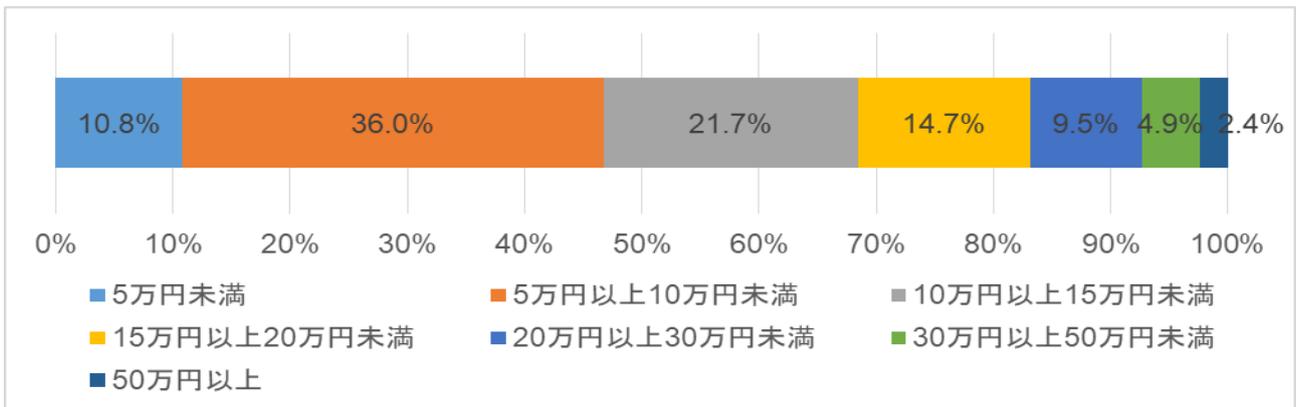
第10回大阪マラソンへの参加については、「ぜひ参加してみたい」が45.5%（昨年45.2%）、「できれば参加してみたい」が48.3%（昨年48.3%）と、参加したいと回答した人が93.8%（昨年93.5%）であった。

■大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか。



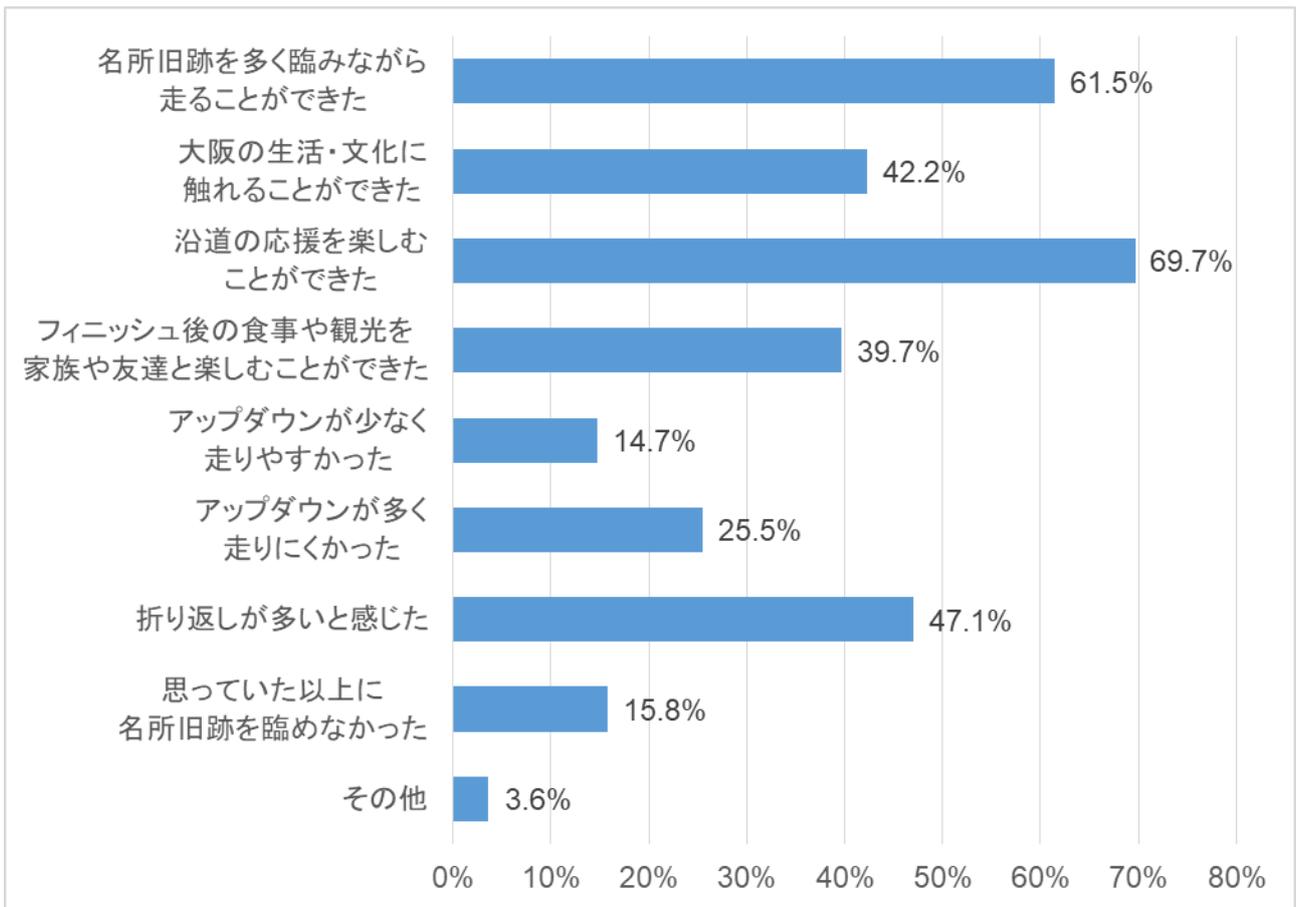
大阪マラソン以外の活動については、「大阪名物の飲食をした」が 86.5% (昨年 77.1%)、「買い物(お土産など)をした」が 79.4% (昨年 83.8%)、「大阪市内観光をした」が 79.0% (昨年 77.3%)であった。

■大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか。



滞在中の経費については、「5万円以上10万円未満」が 36.0% (昨年 31.3%)、「10万円以上15万円未満」が 21.7% (昨年 24.4%)、「15万円以上20万円未満」が 14.7% (昨年 14.7%)であった。

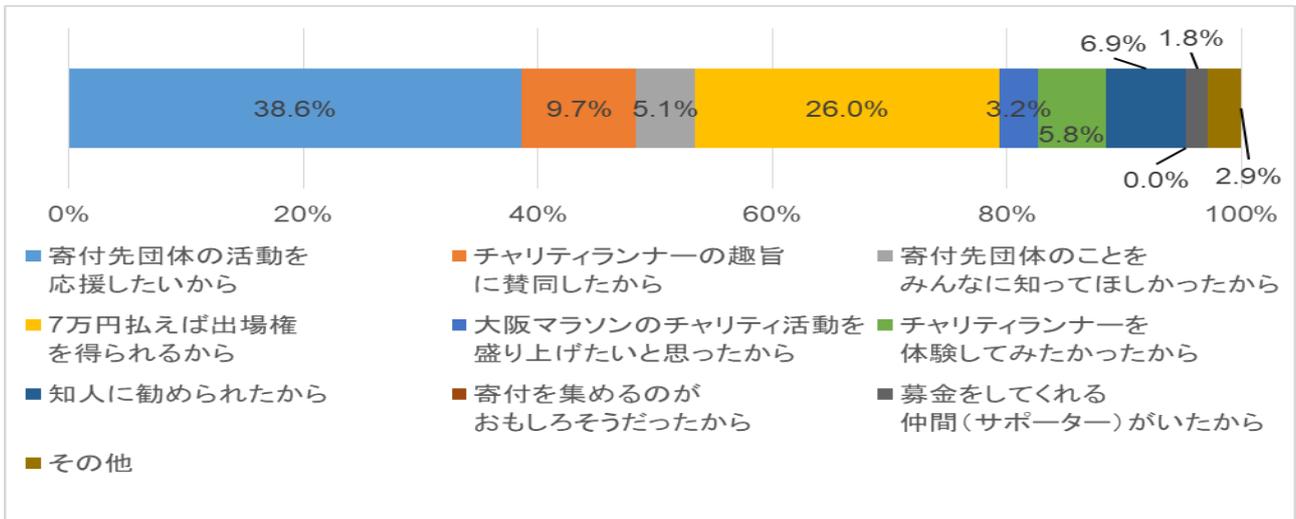
■今大会から大阪マラソンは、大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュというコースに変更となりましたが、実際に走られてどう感じましたか。



コースの変更に伴う感想については、「沿道の応援を楽しむことができた」が69.7%、「名所旧跡を多く臨みながら走ることができた」が61.5%、「折り返しが多いと感じた」が47.1%、「大阪の生活・文化に触れることができた」が42.2%、「フィニッシュ後の食事や観光を家族や友達と楽しむことができた」が39.7%であった。

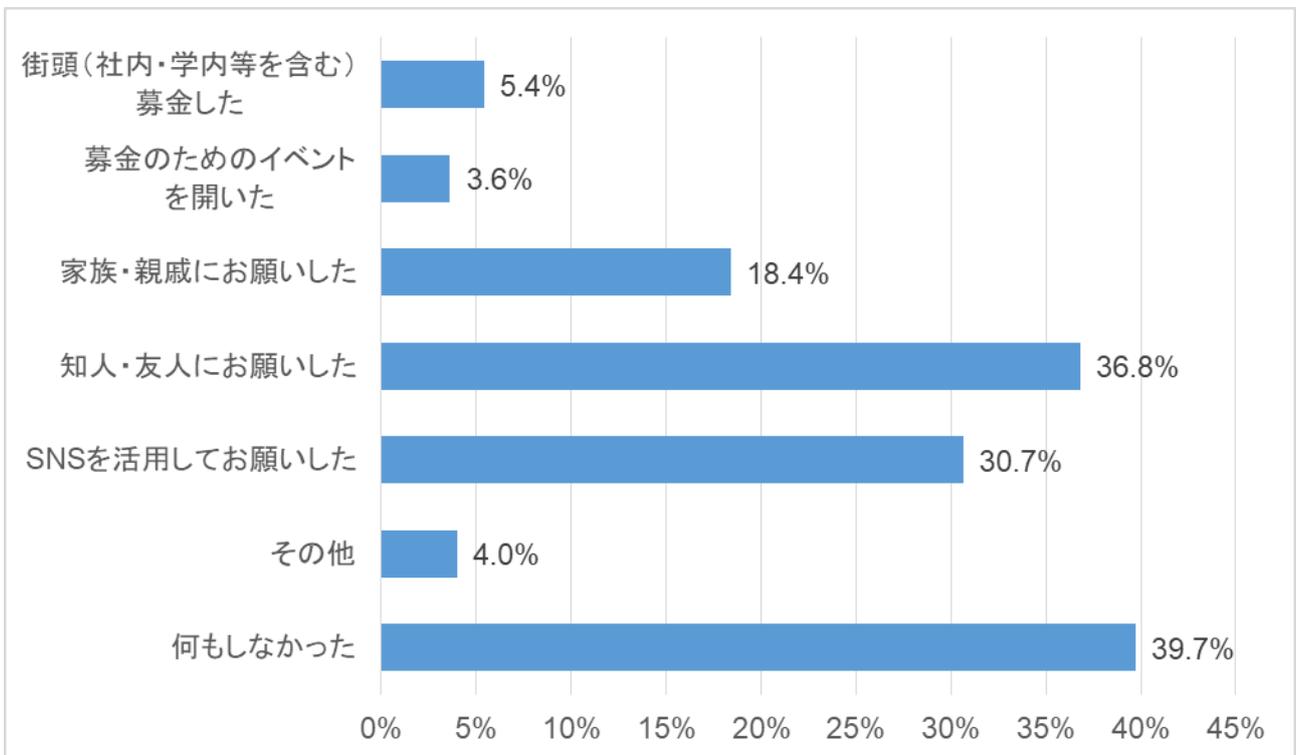
チャリティランナー意識調査

■チャリティランナーとして参加することを決めた1番の理由は何ですか。



チャリティランナーとして参加する理由については、「寄付先団体の活動を応援したいから」が 38.6% (昨年 35.0%)、「7万円払えば出場権を得られるから」が 26.0% (昨年 21.5%)、「チャリティランナーの趣旨に賛同したから」が 9.7% (昨年 16.0%) であった。

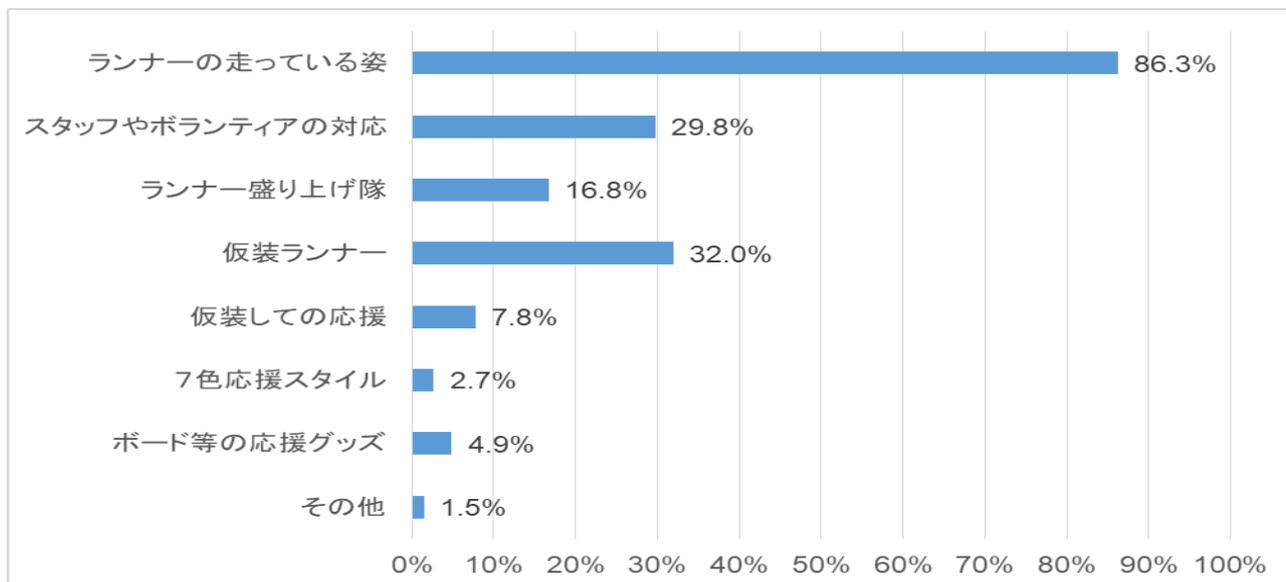
■募金活動はどのようにされましたか。



募金活動については、「何もしなかった」が 39.7% (昨年 31.9%)、「知人・友人にお願いした」が 36.8% (昨年 34.4%)、「SNS を活用してお願いした」が 30.7% (昨年 27.6%) であった。

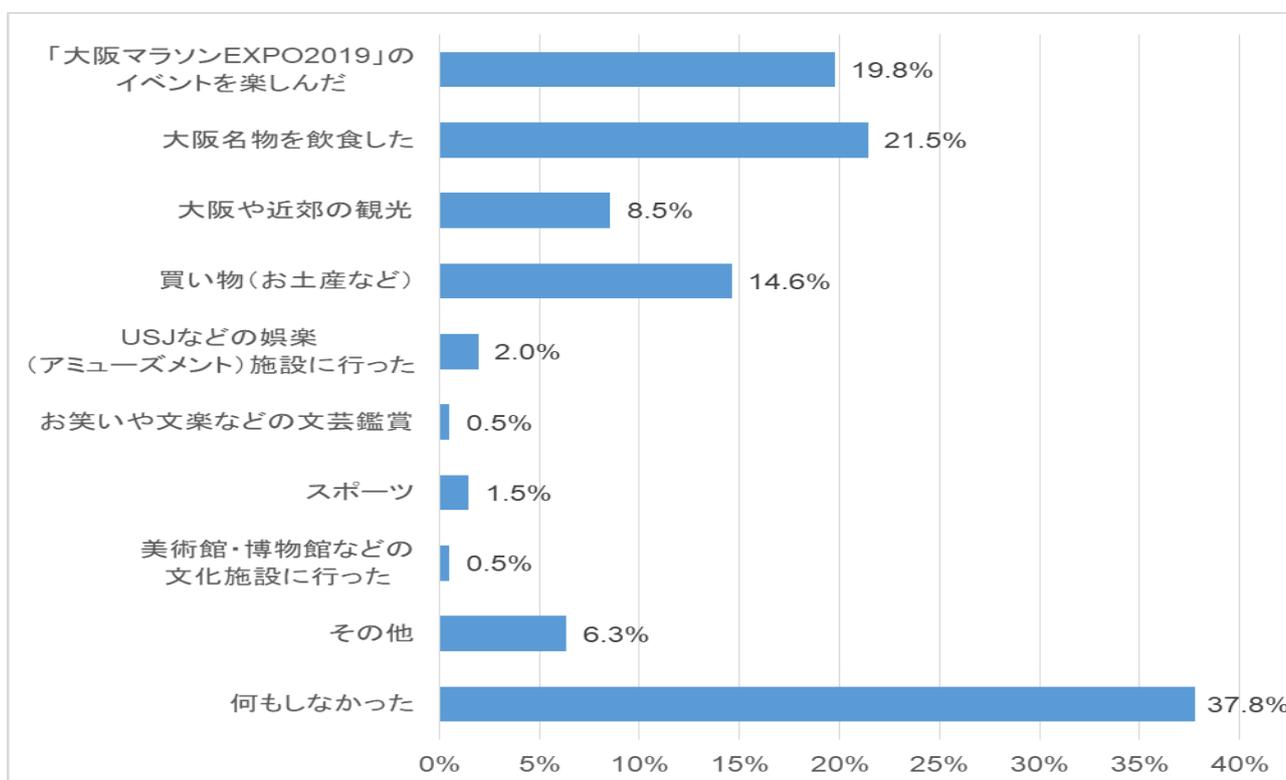
観客意識調査

■大阪マラソンを観戦して印象に残ったものは何ですか。



印象に残ったものについては、「ランナーの走っている姿」が86.3%（昨年57.8%）、「仮装ランナー」が32.0%（昨年25.0%）、「スタッフやボランティアの対応」が29.8%（昨年28.4%）であった。

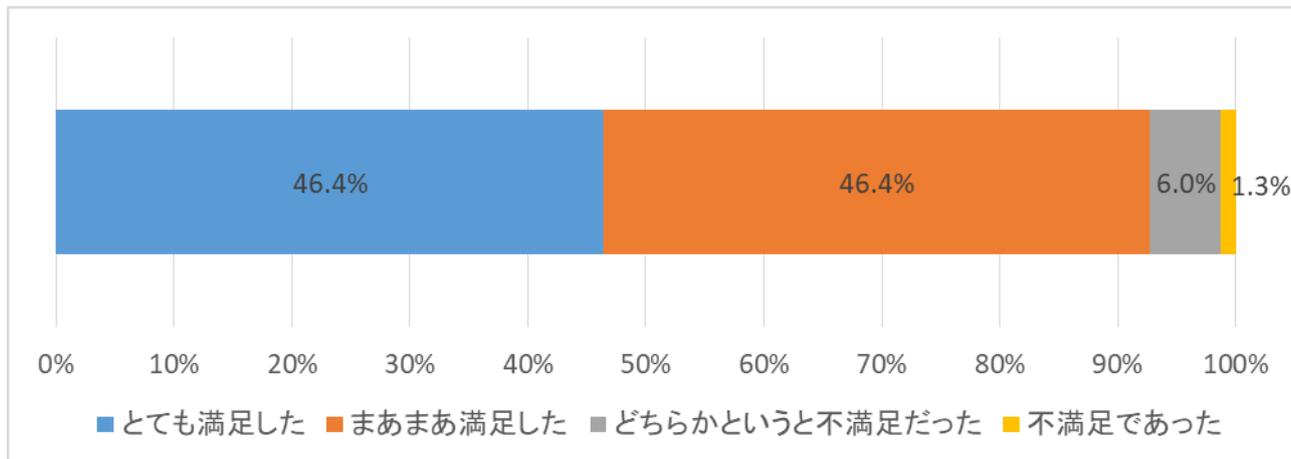
■大阪マラソン観戦以外の活動は何ですか。



大阪マラソンの観戦以外の活動については、「何もしなかった」が37.8%（昨年39.4%）、「大阪名物の飲食」が21.5%（昨年29.1%）、「大阪マラソン EXPO2019のイベントを楽しんだ」が19.8%（昨年15.2%）、「買い物（お土産など）」が14.6%（昨年11.0%）であった。

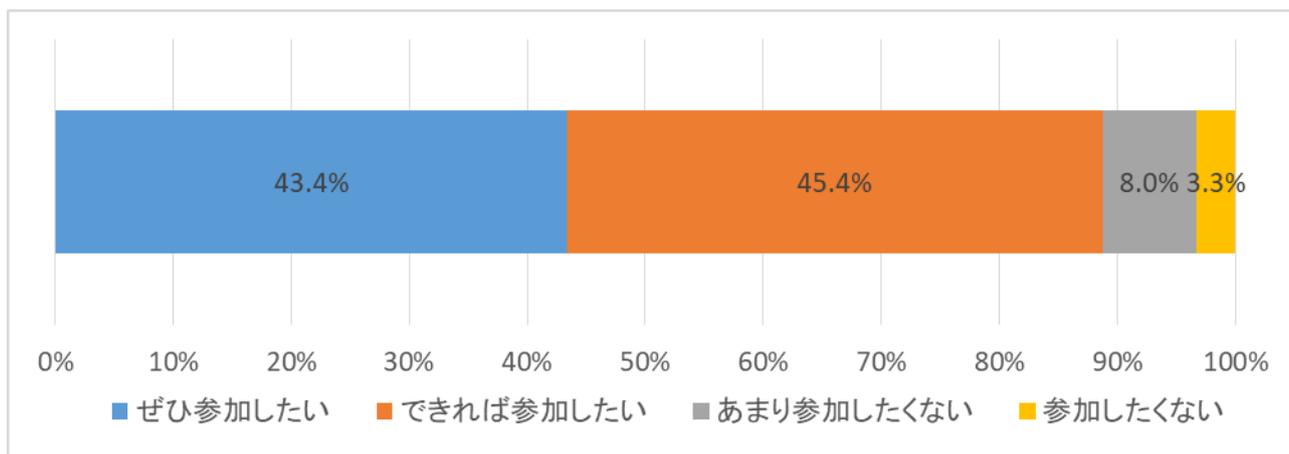
ボランティア意識調査

■ 第 9 回大阪マラソンのボランティア活動に満足されましたか。



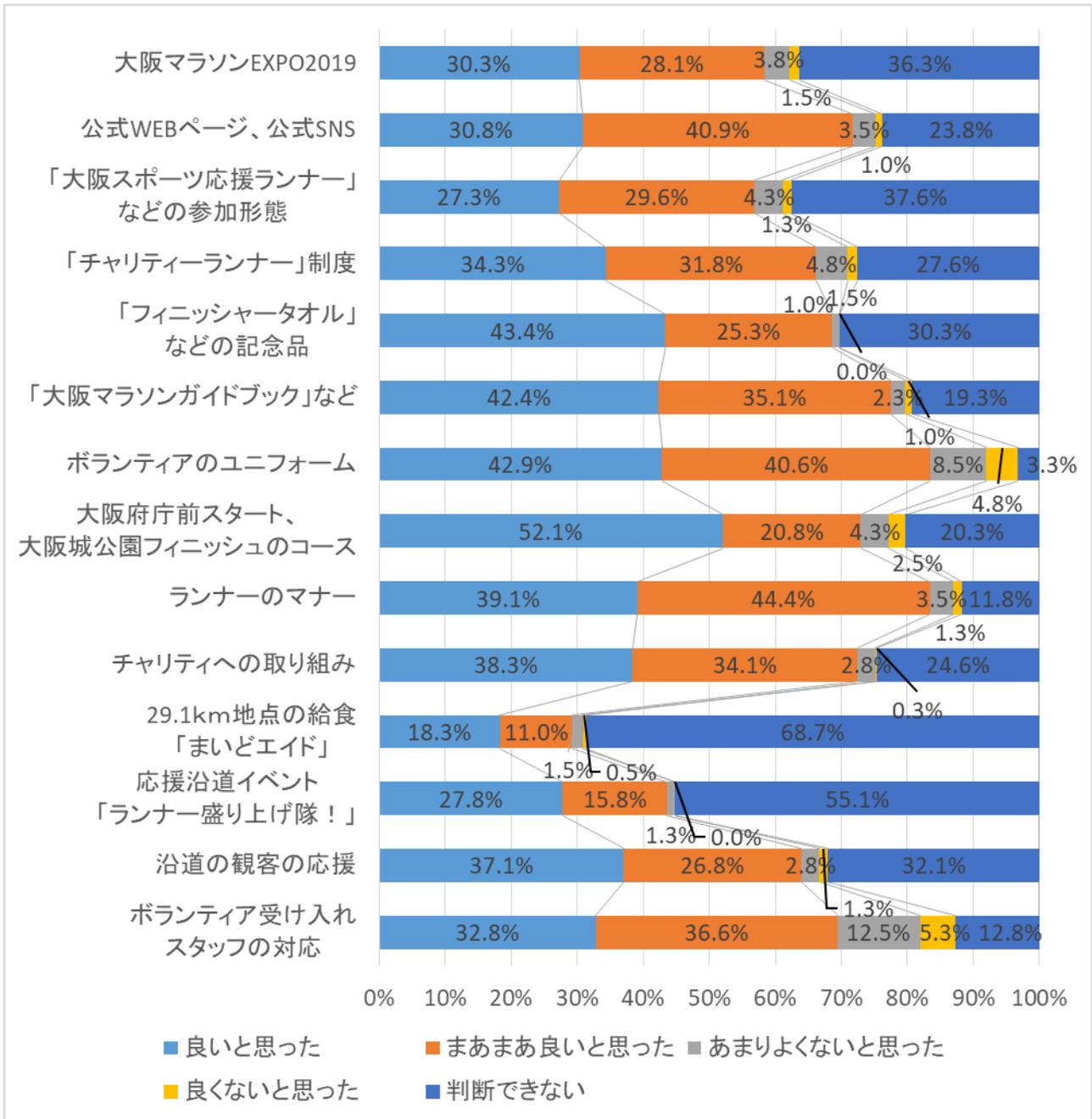
ボランティア活動の評価については、「満足した」が46.4%、「まあまあ満足した」が46.4%と、満足している人が92.8%であった。

■ 第 10 回大阪マラソンのボランティアに参加したいですか。



第 10 回大阪マラソンのボランティアへの参加については、「ぜひ参加したい」が43.4%、「できれば参加したい」が45.4%と、参加したいと回答した人が88.8%であった。

■ 第9回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか。



大阪マラソンの運営については、「良いと思った」と「まあまあ良いと思った」と合わせてみると、「ランナーのマナー」が83.5%、「ボランティアのユニフォーム」が83.5%、「大阪マラソンガイドブックなど」が77.5%であった。

「第9回大阪マラソン」経済波及効果

「第9回大阪マラソン」の開催による経済波及効果は178億円

第9回大阪マラソンの開催による経済波及効果について、宮本 勝浩関西大学名誉教授に算出を依頼したところ、令和元年10月時点の予測では177億円と推定されました。

その後、大会終了後に明らかになった各種データに基づく再検証の結果、予測を1億円上回る**178億円**の経済波及効果があったことが検証されました。

本経済波及効果は、海外からの参加を含むランナー、沿道の観客、大会関係者、ボランティア、メディア、スポンサー関係者などの消費支出や、大会グッズの売り上げなどを、関西大学独自に調査したデータに基づいて算出されたものです。

【「第9回大阪マラソン」経済波及効果 概要】

① 直接効果：153.8億円

1. 大会参加者による消費支出

- | | |
|---|---------|
| (1) マラソンランナーの消費支出 | 約8.6億円 |
| (例) 府外からの20,068人の参加者（うち海外からは5,007人） | |
| (2) ジョギングやマラソン愛好者の大会観戦者の消費支出 | 約8.4億円 |
| (例) 60,480人の観戦者（愛好家人口（レジャー白書）の2,016万人を参考） | |
| (3) ランナー関係の観戦者の消費支出 | 約17.1億円 |
| (例) 6.6万人の応援観戦者（ランナー一人あたり家族、友人など平均2人が応援） | |
| (4) 一般観戦者の消費支出 | 約98.6億円 |
| (例) 120万人の観戦者 | |
| (5) メディア関係者の消費支出 | 約0.3億円 |
| (6) ボランティアの消費支出 | 約0.8億円 |
| (例) 府内から9,000人、府外から1,000人の参加者 | |
| (7) スポンサー関係者の消費支出 | 約0.1億円 |
| (8) 大会関係者の消費支出 | 約0.3億円 |
| (9) 大阪マラソン視察関係者の消費支出 | 約0.01億円 |
| (例) 他マラソン大会関係者が41人来阪（うち海外からは5人） | |
| (10) 大阪マラソン EXP02019 来場者数の消費支出 | 約3.3億円 |
| (例) 50,000人の来場者 | |
| (11) RUNNING EVENT参加者の消費支出 | 約0.3億円 |

2. チャリティ募金の総額

約2.4億円

3. 関係企業独自の支出

約1.0億円

4. 大会運営組織による支出

約12.6億円

② 一次波及効果、二次波及効果：約24.2億円

①+②=約178億円

※マラソンが実施される間の交通の不通や渋滞が発生時のマイナスの経済効果は考慮せず

「第9回大阪マラソン」経済波及効果

「第9回大阪マラソン」の開催による経済波及効果は178億円

第9回大阪マラソンの開催による経済波及効果について、宮本 勝浩関西大学名誉教授に算出を依頼したところ、令和元年10月時点の予測では177億円と推定されました。

その後、大会終了後に明らかになった各種データに基づく再検証の結果、予測を1億円上回る**178億円**の経済波及効果があったことが検証されました。

（本経済波及効果は、海外からの参加を含むランナー、沿道の観客、大会関係者、ボランティア、メディア、スポンサー関係者などの消費支出や、大会グッズの売り上げなどを、関西大学独自に調査したデータに基づいて算出されたものです。）

【「第9回大阪マラソン」経済波及効果 概要】

① 直接効果：153.8億円

1. 大会参加者による消費支出

- | | |
|---|---------|
| (1) マラソンランナーの消費支出 | 約8.6億円 |
| (例) 府外からの20,068人の参加者（うち海外からは5,007人） | |
| (2) ジョギングやマラソン愛好者の大会観戦者の消費支出 | 約8.4億円 |
| (例) 60,480人の観戦者（愛好家人口（レジャー白書）の2,016万人を参考） | |
| (3) ランナー関係の観戦者の消費支出 | 約17.1億円 |
| (例) 6.6万人の応援観戦者（ランナー一人あたり家族、友人など平均2人が応援） | |
| (4) 一般観戦者の消費支出 | 約98.6億円 |
| (例) 120万人の観戦者 | |
| (5) メディア関係者の消費支出 | 約0.3億円 |
| (6) ボランティアの消費支出 | 約0.8億円 |
| (例) 府内から9,000人、府外から1,000人の参加者 | |
| (7) スポンサー関係者の消費支出 | 約0.1億円 |
| (8) 大会関係者の消費支出 | 約0.3億円 |
| (9) 大阪マラソン視察関係者の消費支出 | 約0.01億円 |
| (例) 他マラソン大会関係者が41人来阪（うち海外からは5人） | |
| (10) 大阪マラソン EXPO2019 来場者数の消費支出 | 約3.3億円 |
| (例) 50,000人の来場者 | |
| (11) RUNNING EVENT参加者の消費支出 | 約0.3億円 |

2. チャリティ募金の総額

約2.4億円

3. 関係企業独自の支出

約1.0億円

4. 大会運営組織による支出

約12.6億円

② 一次波及効果、二次波及効果：約24.2億円

①+②=約178億円

※マラソンが実施される間の交通の不通や渋滞が発生時のマイナスの経済効果は考慮せず

(議題 2 : 第 1 0 回大阪マラソンの実施について (案))

- ・ 第 1 0 回大阪マラソン・大会要項 (概要)
- ・ 第 1 0 回大阪マラソン・チャリティ事業について
- ・ 第 1 0 回大阪マラソン・ボランティアについて
- ・ 今後の主なスケジュール

第10回大阪マラソン・大会要項（概要）

■大会名称 (英文名)	第10回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2020～ Osaka Marathon 2020
■主催	大阪府、大阪市、一般財団法人大阪陸上競技協会
■共催	読売新聞社
■主管	一般財団法人大阪陸上競技協会
■運営協力	大阪パラ陸上競技協会
■後援 (予定)	公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪府スポーツ協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市スポーツ協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、讀賣テレビ放送株式会社、株式会社毎日放送 <順不同>
■メインスポンサー	株式会社オプテージ
■オフィシャルスポンサー	大阪市高速電気軌道株式会社 他
■種目	マラソン (1)日本陸上競技連盟登録競技者 (2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー (3)車いす
■開催日時	2020年(令和2年)11月29日(日) 8:55 車いすマラソンスタート 9:00 マラソン第1ウェーブスタート 9:10 マラソン第2ウェーブスタート 9:25 マラソン第3ウェーブスタート 11:15 車いすマラソン終了 16:00 マラソン終了
■競技規則	2020年度世界陸上競技連盟(WA)並びに日本陸上競技連盟競技規則、日本パラ陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。 なお本大会は、WAが認定するブロンズラベルレースであるため、World Athletics Road Race Label Regulations(ワールドアスレティックス・ロードレースラベリング規定)も適用される。 また、WAの規則により、ドーピング検査を実施する。
■コース	大阪府庁前をスタートし、大阪城公園内をフィニッシュとする大阪マラソンコース <日本陸上競技連盟、WA/AIMS公認コース>
■制限時間	マラソン:7時間、車いすマラソン:2時間20分
■定員	35,000人(参加資格①～⑦の者を含む)
■参加資格	2002年(平成14年)4月1日以前に生まれた者 ※日本陸上競技連盟登録競技者については、2020年度の登録者とする。 ※障がいのある方で単独走行が困難な方は伴走者1人をつけることができる。 (盲導犬の伴走は不可) ※競技終了時刻までに完走できる者
	①個人 (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー、 (3)車いす レース仕様車とする(日本パラ陸上競技連盟競技規則による) ※2018年(平成30年)4月1日以降の国内または国外の車いすレースにおいて ハーフ:1時間10分以内 フルマラソン:2時間20分以内の記録を有する者 計30人
	②ペア(2人)、③グループ(3～7人) 日本陸上競技連盟に登録していないランナー

	④市民アスリート (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー ※国内居住者で日本語サイトからのエントリー者に限る。 ※(1)、(2)ともに年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録(日本陸上競技連盟公認またはAIMS公認コースで2018年(平成30年)4月1日以降のグロスタイム)を有する者 計2,000人
	⑤チャリティランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー ※(1)、(2)ともに大阪マラソンチャリティ制度に賛同し目標金額70,000円以上の寄付を集めた者 計1,000人
	⑥大阪スポーツ応援ランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー ※(1)、(2)ともにふるさと納税制度を活用して募集期間内に、大阪府「なみはやスポーツ振興基金」又は大阪市「大阪市スポーツ振興基金」に10万円以上の寄附をされた方(もしくは、寄附者が指定した方) 計800人
	⑦障がい者ランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー ※国内居住者で日本語サイトからのエントリー者に限る。 ※(1)、(2)ともに障がいがあり、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれかをお持ちの方 計50人
■参加料	(①個人、④市民アスリート、⑤チャリティランナー、⑥大阪スポーツ応援ランナー、⑦障がい者ランナー) 国内 14,000円 国外 16,000円 (②ペア(2人)) 36,400円 (③グループ(3～7人)) 127,400円
■参加申込	(①個人、②ペア、③グループ、⑦障がい者ランナー) (1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) (2)期間 2020年(令和2年)4月10日(金)10時から5月22日(金)17時まで (3)参加料とは別に、参加者1名につきチャリティ募金について1口500円を2口以上及び事務手数料を必要とする。
	(④市民アスリート) (1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(2,000人) (2)期間 2020年(令和2年)4月8日(水)12時から4月10日(金)17時まで (3)参加料とは別に、参加者1名につきチャリティ募金について1口500円を2口以上及び事務手数料を必要とする。
	(⑤チャリティランナー) (1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(1,000人) (2)期間 2020年(令和2年)4月23日(木)10時から8月28日(金)17時まで (3)参加料とは別に事務手数料を必要とする。
	(⑥大阪スポーツ応援ランナー) (1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(大阪府・大阪市各400人) (2)期間 2020年(令和2年)4月10日(金)から6月30日(火)まで (3)参加料とは別に、参加者1名につきチャリティ募金について1口500円を2口以上及び事務手数料を必要とする。
■参加者受付	2020年(令和2年)11月27日(金)・28日(土) 大阪マラソンEXPO2020会場(インテックス大阪)において行う。
■その他	(1)チャリティプログラムの趣旨に賛同できない方の申し込みはご遠慮いただく。 (2)主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。 (3)大会参加に関しては十分にトレーニングし、事前に健康診断を受診する等、体調には万全の配慮を促す。 (4)競技中の事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。 (5)本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

参加料の改定について（案）

1 背景

（参加料の推移）

- 2011年の第1回大会から個人・国内10,000円、国外12,000円で開始。
2015年に消費税率引き上げに伴う改定を実施して以降、国内10,800円、国外13,000円で据え置いている。

（大会運営経費の増加）

- 警備費や会場設営・コース運営に要する資材費、運送費が大幅増加し、今後も増加する見通しである。
- コース変更に伴う雨天・低体温対策の充実、コース横断等の安全対策、トイレ増設・洋式化に対応していく必要がある。
- これらの経費は、ランナーの安心、安全の確保に必要であり、ランナーに直接還元されるものである。また、これ以上の経費節減は困難であり、企業協賛金等の収入確保も厳しい状況も踏まえ、参加料に負担を求めざるを得ない。

2 改定案

- 参加料を据え置き、定員35,000人として、今後3年間（2022年）の収支を試算した場合、▲約1億1千万円の収支差が生じる見込み。
- これを解消するため、現行の参加料に、ランナー1人当たり3,000～3,200円の負担を求める。

（単位：円・税込）

	国内			国外
	個人	ペア（2名）	グループ（3～7名）	個人
2011年～2014年	10,000	28,000	98,000	12,000
2015年～2019年	10,800	30,000	105,000	13,000
2020年（改定案）	14,000	36,400	127,400	16,000

※別途チャリティ募金1,000円/人が必要。

【参考：他大会の参加料の状況】

（単位：円・税込）

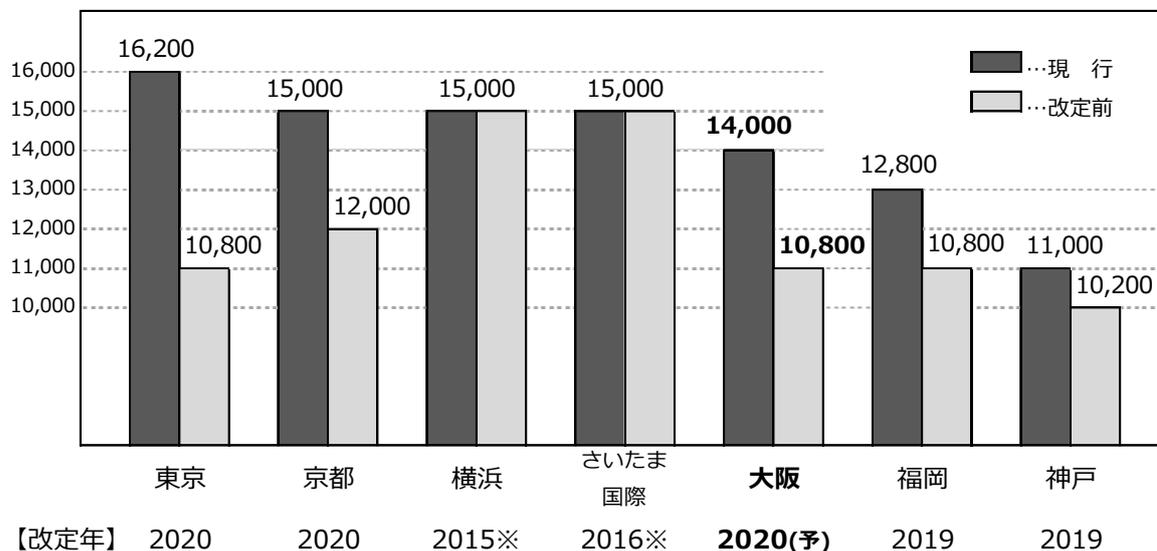
大会名	国内（改定前）	国外（改定前）	改定年
東京マラソン	16,200(10,800)	18,200(12,800)	2020年
京都マラソン	15,000(12,000)	17,000(17,000)	2020年
横浜マラソン	15,000	17,000	2015年※
さいたま国際マラソン	15,000	15,000	2016年※
福岡マラソン	12,800(10,800)	15,000(12,960)	2019年
神戸マラソン	11,000(10,200)	11,000(10,200)	2019年

※横浜マラソン、さいたま国際マラソンについては、大会当初より参加料の改定無し。

【参考：他大会との参加料の比較】

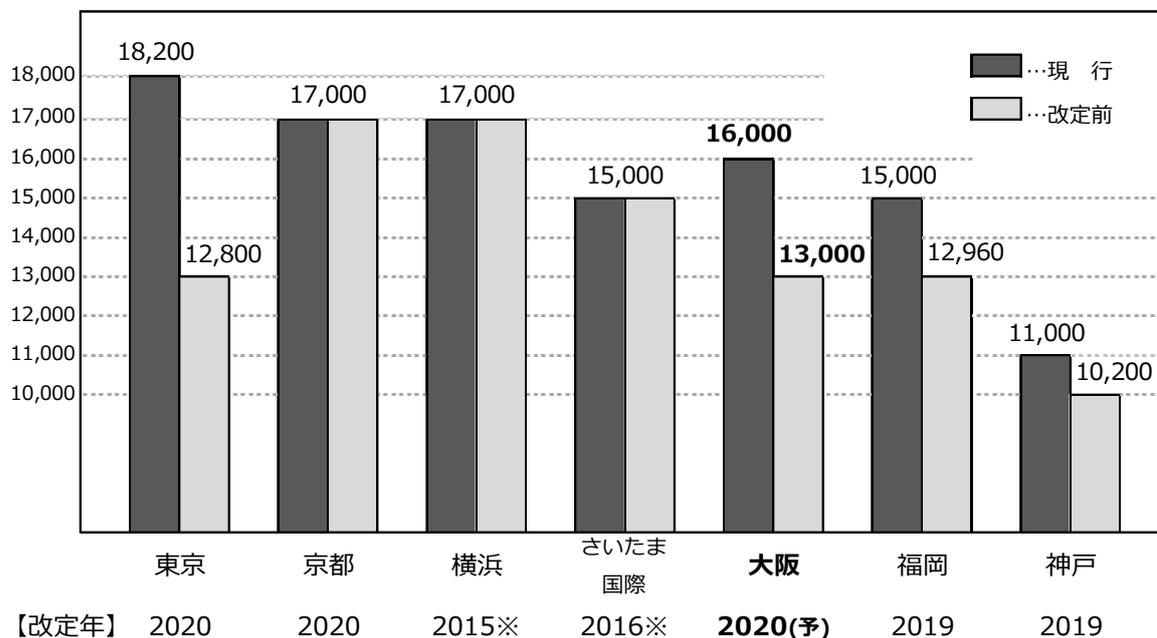
(国内／個人)

(単位：円・税込)

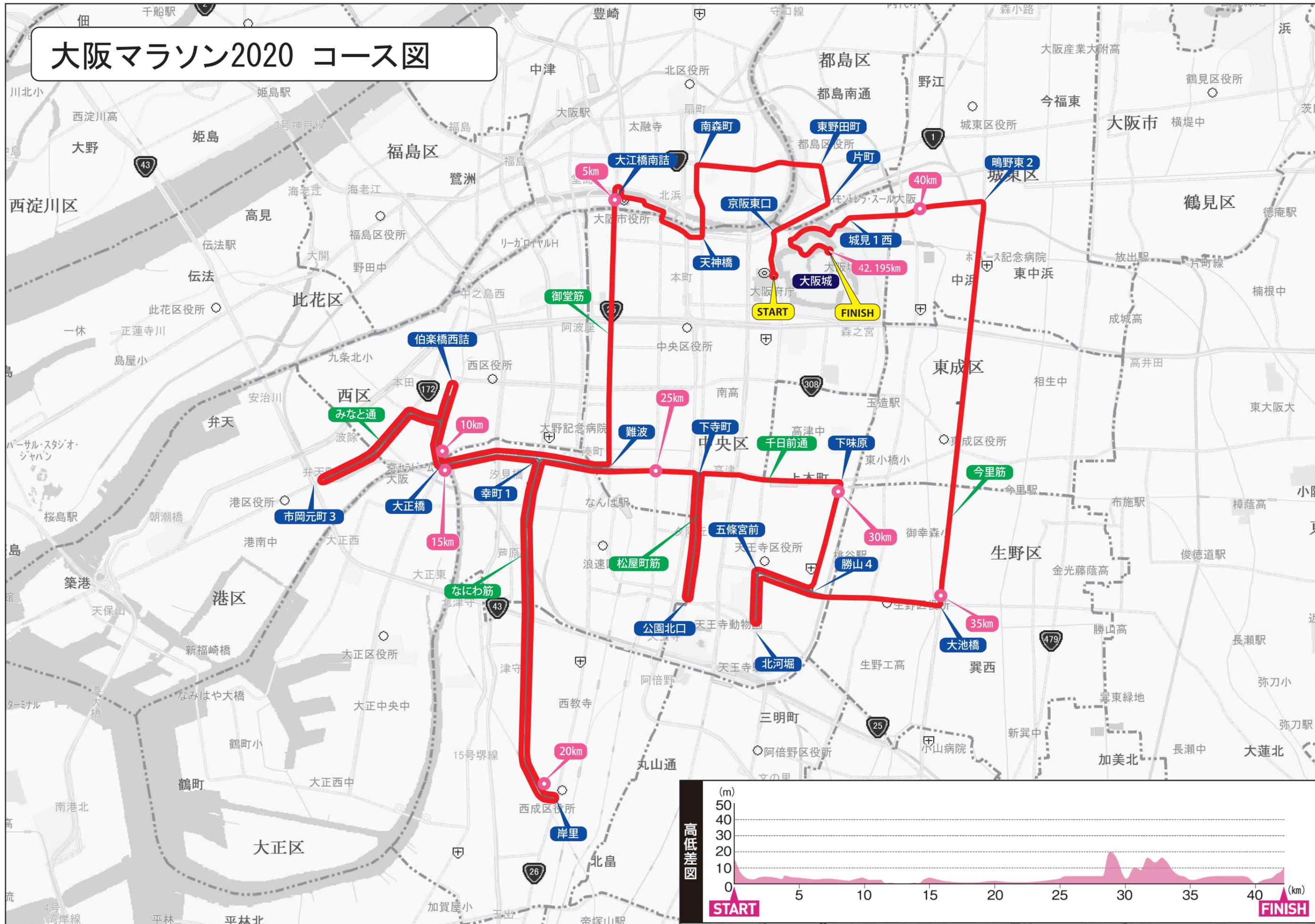


(国外／個人)

(単位：円・税込)



大阪マラソン2020 コース図



第10回大阪マラソン・チャリティ事業について

第10回大会では、チャリティ寄付先団体29団体を決定するとともに、チャリティ募金やチャリティランナーによる寄付参加の呼びかけ、チャリティグッズの制作・販売等を通じて、ランナーをはじめ幅広い方々がチャリティに参加できる取組みを行います。

(1) チャリティ寄付先団体の決定

第10回大会に向け、チャリティ寄付先団体を公募し、応募のあった44団体について、チャリティ専門部会における選考の結果、フラッグシップパートナー14団体、チャレンジパートナー15団体の計29団体を決定。(別添「第10回大阪マラソン 寄付先団体一覧」参照)

(2) チャリティ募金

ランナーは、エントリー時に、支援したいチャリティテーマを選択して、一人2口以上(1口=500円)のチャリティ募金を申し込んでいただきます。

また、ランナーをはじめ幅広い方々がチャリティに参加できる取組みとして、スポンサーや商店街との連携、関連イベント、EXPO会場、大会当日の沿道など、あらゆる機会を活用した募金活動を行い、チャリティを呼びかけます。

EXPO会場や大会当日の沿道募金では、一定金額以上の寄付をいただいた方に、応援グッズとして、なないろハイタッチ手袋を進呈するなど、工夫を凝らした活動に努めます。

(3) チャリティランナーの募集

チャリティ活動への理解を深め、支援の輪を広げていくことを目的に、チャリティランナーを募集します。

- ◆種 目：個人(日本陸連登録競技者・日本陸連に登録していないランナー)のみ
- ◆募 集 期 間：令和2年4月23日(木)から8月28日(金)まで
- ◆募集予定人数：1,000人
- ◆申 込 方 法：インターネット(PC・スマートフォンに限る)
- ◆寄 付 目 標 金 額：7万円以上(寄付先団体の中から支援を希望する1団体を選択、寄付目標金額は自己申告)
※別途、参加料及び事務手数料が必要です。

(4) チャリティグッズの制作・販売

オリジナルデザインのTシャツ（7種類）をはじめ、次のチャリティグッズを参加ランナー対象に販売します。

チャリティグッズ	販売金額（税込）／枚	寄付金額
なないろチャリティTシャツ	4,300円	製作費を除く2,000円
チャリティウィンドブレーカー	7,700円	製作費を除く3,500円
なないろチャリティキャップ	2,100円	製作費を除く売上の一部を寄付
なないろチャリティアームウォーマー	1,800円	
ニックネーム入りナンバーカード	550円	

第10回大阪マラソン 寄付先団体一覧

フラッグシップパートナー（14団体）

番号	チャリティテーマ (色)	団体名	主な活動内容	寄付金使用用途
1	美しいまちと 暮らしを支える (紫)	公益財団法人 オイスカ	国内外で森づくりや人材育成を行う	東日本大震災で失われた海岸林の再生プロジェクト（宮城県名取市）に活用。35,000本の育苗、100haの草刈り、ニセアカシア・クス木殺処理等の育林作業に活用
2		認定NPO法人 グリーンバード	全国各地でごみ拾いやごみのない街づくり活動を行う	ごみ拾いや、ごみのない街づくり活動を行う関西エリアの既存10チームの活動に係る費用や新チーム設立に係る費用、海外の新チーム設立、維持費にも活用
3	スポーツ・文化 を支える (紺)	NPO法人 改革プロジェクト	防犯活動を軸に、防災、環境活動に取り組む	関西を中心に、街頭犯罪ゼロをめざして、街を走ってパトロールするパトランチームの創設資金、犯罪予測アプリの開発、子どもパトロールプログラムの展開等に活用
4		認定NPO法人 プール・ボランティア	障がいのあるすべての人に泳ぐ楽しさを伝える	援助や配慮が必要だと周囲に知らせる「ヘルプマーク」をプリントした「スイムキャップ」や「重度身体障がい者用浮き具」の製作と普及、プール専用車椅子の製作等に活用
5	自然環境を支える (水)	認定NPO法人 自然環境復元協会（NAREC）	「多様な生き物と共に暮らす社会」をめざし国内の環境保全を行う	大阪の自然環境を保全・維持管理する「おおさかレンジャーズ」の活動の活性化と、地域住民の参加促進など自立に向けた取組みに活用
6		公益社団法人 日本環境教育フォーラム	環境教育を通じた持続可能な社会づくりを担う人材の育成	近畿圏エリアを中心とした、子ども達の健全な成長を支援する自然体験プログラムや体験学習プログラムの実施に活用
7	大阪のまちを支える (緑)	NPO法人 HELLOlife	子どもの貧困問題解決につながる若者支援	空き家など地域資源を活用した就業支援システムの検証と継続、若者支援・子どもの貧困を支援する就労支援プログラムの実施に活用
8		NPO法人 み・らいず	貧困状態の子ども、障がい者等への地域生活支援	大阪市住之江区の本部事務所での子ども食堂の運営と、貧困状態にある子どもの居場所の開設や「子どもの貧困」をテーマとしたフォーラムの開催に活用
9	家族を支える (黄)	認定特定非営利活動法人 育て上げネット	若者への就労支援の提供	働きたくても働けない若者に対する無償支援の提供や、在宅ワーク等の個々の事情に合わせた環境で「働く」と「働き続ける」を形成する支援プログラムの開発に活用
10		認定NPO法人 日本クリニックラウン協会	クリニックラウン（臨床道化師）を派遣し、入院中の子どもたちや家族の生きる力を支える	入院中の子どもたちが本来の生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境をつくるクリニックラウン（臨床道化師）の派遣・育成事業、講演会等の啓発事業に活用
11	子どもの未来 を支える (オレンジ)	公益社団法人 こどものホスピスプロジェクト	地域で支える小児緩和ケア	小児がんや神経筋疾患などの生命を脅かす病気の子どもに対し、ホスピスプログラムの充実や宿泊など多様な機会の提供、遺族に対するグリーフケアの場の提供などに活用
12		公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	日本を含む世界120か国での子ども支援活動	国内外で自然災害や紛争などにより、緊急支援を必要としている子どもたちへの支援物資の提供や教育支援、「こどもひろば」等の子どもたちのこころのケアの支援に活用
13	生きる希望を支える (赤)	認定NPO法人 がんサポートコミュニティー	がん患者と家族に対するこころのケアの提供	地域共生社会・がんを恐れない社会・価値創造社会の大阪での実現をめざし、サポートグループ開催等のがん患者支援や医療関係者と連携したセミナー開催、がん啓発の展開等に活用
14		京都大学 iPS 細胞研究所	iPS細胞の医療応用に向けた研究	iPS細胞を活用した新たな治療法の開発に繋げるため、優秀な人材の確保や安定的な研究活動の支援（特許係争等のリスク対策等）、iPS細胞研究の情報発信・普及活動等に活用

チャレンジパートナー（15団体）

番号	団体名	主な活動内容	寄付金使用用途	新規団体
1	特定非営利活動法人 あっとすくーる	ひとり親家庭の子どもたちに学習支援を行う	ひとり親の子どもたちの学習機会の確保、大阪府北摂地震において、自宅が損壊等の被害を受けた子どもたちや突発的に貧困状態となった子どもたちの教育支援に活用	○
2	公益財団法人 大阪府育英会	経済的な理由により学習環境に恵まれない高校生を支援する	経済的な理由により学習環境に恵まれない中、スポーツや芸術など得意分野を活かして、将来の夢の実現のため努力し、大学等への進学をめざす高校性を支援する「夢みらい奨学金」等に活用	
3	NPO 法人 関西骨髄バンク推進協会	骨髄バンクのドナー登録者を増やすための活動を行う	ドナー登録を増やすための啓発費や説明員養成のための費用、既存の説明員に対する研修費、組織の維持運営費等に活用	○
4	認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク	小児がん患者やその家族、小児がん経験者を支援する	小児がん経験者の「自立」の支えになることを目標に、経済的理由により大学・専門学校等への進学が困難な小児がん経験者を支援する給付型奨学金に活用	
5	認定NPO 法人 国際ピフレンダーズ 大阪自殺防止センター	苦悩に寄り添う電話相談と自死遺族へのサポートを行う	団体活動の柱となる電話相談と自死遺族の会の運営の活動資金として、活動拠点の維持費用、電話等の設備費、人件費、相談員の資質向上のための研修費用、外部講師の招へい費用等に活用	
6	特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会	難民・避難民を支えるための広報・募金活動を行う	難民の子どもたちの教育支援として、教科書や学用品、制服や靴等通学に必要な物の支給、学習環境整備、質の高い教師の確保・養成費用に活用	
7	認定NPO 法人 CPAO	困窮している親子に家事育児等のサポートを行う	「親子が囁け込める場所づくり」のための施設整備や、親と子どもの関わりを支援する「家事・育児サポート」の実施に活用	○
8	認定NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会	途上国にワクチンを贈り子どもの未来を守る活動を行う	開発途上国の子どもたちの命と健康を守るためのワクチン及び関連機器の購入、団体の認知及び活動の啓発活動に活用	
9	公益財団法人 チャイルド・ケモ・サポート基金	小児がん等の難治性疾患の子どもとその家族を支援する	小児がん等の難治性疾患の子どもと家族を支援するため、闘病中の子どもが、24 時間医療者が常駐する環境で家族と一緒に日常を過ごすことができる施設の運営や相談事業、インバト開催等の活動に活用	○
10	特定非営利活動法人 つながりひろば	がん患者とその家族を支援する	がん患者を支援するため、大阪国際がんセンターと連携した支援活動をベースに、支援対象を関西全体に拡大して行くことを目指して、組織づくり、人材育成、活動拠点の充実に活用	
11	認定特定非営利活動法人 日本 IDDM ネットワーク	1 型糖尿病患者・家族の支援とこの病の根絶を目指す研究への助成	1 型糖尿病の根絶（＝治療＋根治＋予防）に向けた研究費への助成、1 型糖尿病患者への奨学金の支給や起業支援を通して、この病気によるハンディキャップを持つ子どもと若者の支援に活用	
12	認定特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	日本を含む世界 11 の国・地域で、農業、教育、医療等を支援する	日本を含む世界 11 の国・地域での支援活動資金として活用。また、国内でより多くの人々がよりよい世界を目指して、世界の人々の思いを共感していただく機会を増やすため、イベント開催等に活用	○
13	特定非営利活動法人 日本子ども支援協会	イベントやコミュニティサイトの運営を通じて里親啓発を行う	里親啓発活動への活用。また、大阪市里親会を中心にコミュニティサイトの利用を広げ、里親に関心がある人や里親が求める機能（里親予備軍の可視化、里親司士のチャット機能等）を実装するための運用費に活用	○
14	認定NPO 法人 ノーベル	子育てと仕事の両立を目指し訪問型病児保育を行う	既存の一時保育施設ではカバーしきれない親御さんたちのニーズを充たすため、「ひとり親家庭」と「障がいを持つ子どもの家庭」の病児保育と一時保育利用料に活用	
15	わか町にしなり子育てネット	子育てサークル等の地域ネットワークを活用し、子育てを支援する	西成区内全小中学生を対象に、「子どもの権利」を知り考えるための普及活動に活用。また、子どもの貧困、虐待予防の取り組み及び区内で活動中の「子ども食堂」の周知と利用促進に活用	

第10回大阪マラソン・ボランティアについて

■活動内容

活動日等	活動内容
大阪マラソン EXPO2020 前日準備 11月26日(木)	ランナー配布物の袋詰め(受付準備)
大阪マラソン EXPO2020 11月27日(金)、28日(土)	ランナー受付、会場案内、総合案内
第10回大阪マラソン 11月29日(日)	コース沿道整理、給水・給食、手荷物預かり・返却、 完走記念メダル配布、観客の案内誘導、ランナー救護受付、 自転車の運搬補助(力持ちボランティア) など

■募集内容

区 分	団体ボランティア	個人ボランティア
定 員 (予定)	10,000人	
申込単位	1団体につき10人以上	1~5人
要項発表	5月中旬予定	
申込受付開始	6月上旬予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。	7月中旬予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。

■支給物品

ウェア・キャップ など

※ 報酬・食事・交通費の支給はなし。

今後の主なスケジュール

- 4月 8日 (水) ■市民アスリートエントリー開始
(~4/10(金) 2,000人 先着順)
- 4月 10日 (金) ■ランナーエントリー開始 (~5/22(金))
■大阪スポーツ応援ランナー募集開始
(~6/30(火) 800人 先着順)
- 4月 23日 (木) ■チャリティランナーエントリー開始
(~8/28(金) 1,000人 先着順)
- 6月 ■ボランティア(団体)募集開始
■大阪マラソン公式ランニングイベントの開催
(ヤンマースタジアム長居)
■沿道応援イベント参加者募集開始
●大阪マラソン組織委員会(第30回)
- 7月 ■ボランティア(個人)募集開始
- 10月 ●大阪マラソン組織委員会(第31回)
- 11月 ■商店街等との連携によるPR展開<予定>
- 11月 27日 (金) ■大阪マラソン EXPO2020 (インテックス大阪)
(~11月 28日 (土))
- 11月 28日 (土) ■大阪マラソン公式ランニングイベントの開催
■ウェルカムパーティー
- 11月 29日 (日) ☆「第10回大阪マラソン
~OSAKA MARATHON 2020~」開催
■沿道応援イベント開催
- 通年開催 ■大阪マラソン公式練習会の開催
■大阪マラソン公式ランニングクリニックの開催

今後の主なスケジュール

- 4月 8日（水） ■市民アスリートエントリー開始
（～4/10(金) 2,000人 先着順）
- 4月 10日（金） ■ランナーエントリー開始（～5/22(金)）
■大阪スポーツ応援ランナー募集開始
（～6/30(火) 800人 先着順）
■チャリティランナーエントリー開始（～8/28(金)）
- 6月 ■ボランティア（団体）募集開始
■大阪マラソン公式ランニングイベントの開催
（ヤンマースタジアム長居）
■沿道応援イベント参加者募集開始
●大阪マラソン組織委員会（第30回）
- 7月 ■ボランティア（個人）募集開始
- 10月 ●大阪マラソン組織委員会（第31回）
- 11月 ■商店街等との連携によるPR展開〈予定〉
- 11月 27日（金） ■大阪マラソン EXPO2020（インテックス大阪）
（～11月28日（土））
- 11月 28日（土） ■大阪マラソン公式ランニングイベントの開催
■ウェルカムパーティー
- 11月 29日（日） ☆「第10回大阪マラソン
～OSAKA MARATHON 2020～」開催
■沿道応援イベント開催
- 通年開催 ■大阪マラソン公式練習会の開催
■大阪マラソン公式ランニングクリニックの開催

(報告 2 : 第 10 回大阪マラソン・ランナー募集ポスターについて)

第 10 回大阪マラソンランナー募集ポスターについて

- 大阪マラソンは、参加するランナー（3 万 5 千人）はもちろんのこと、観る人（130 万人の沿道応援）、支える人（1 万人のボランティア）が一体となって行うスポーツイベントであり、様々なジャンルから多くの方々に大阪マラソンに関わっていただく取組みを進めております。
- その一環として、ランナー募集のポスター等に使用するメインビジュアル（デザインを中心となるイメージ画像）を第 7 回大会から公募しております。
- 第 10 回大会については、次のとおり公募を実施し、外部の専門家で構成するメインビジュアル選定審査会における審査の結果、最優秀作品として、藤井里咲さんの作品が選定されました。
- 今後、この作品をメインビジュアルとして、第 10 回大阪マラソンランナー募集ポスター及びパンフレットを作成いたします。

(概 要)

1 募集期間

令和元年 8 月 2 日（金曜日）から 11 月 8 日（金曜日）まで

2 応募作品数

84 作品

3 受賞者

- ・最優秀作品 藤井 里咲さん
- ・優秀作品 石原 一博さん
- ・優秀作品 中村 勇人さん

第10回大阪マラソンランナー募集ポスター

OSAKA 2020 MARATHON 11月29日(日)開催



第10回大阪マラソン

募集期間 **4月10日(金)** 10時から **5月22日(金)** 17時まで

市民アスリート
2,000人先行募集!
4月8日(火) 12時

連続落選者枠 4,500人優先抽選! (大阪スポーツ応援ランナー) 先着800人大募集!

※詳しくは公式サイトへ



■主催:大阪府、大阪市、(一財)大阪陸上競技協会
■共催:関西学院大学、(一財)大阪陸上競技協会
■協賛: (公財)日本陸上競技連盟 他

○お問い合わせ(平日10時~17時 ※土・日・祝日を除きます)
大阪マラソンコールセンター 06-6445-3975
○申し込みは公式サイト(5月22日)まで



※最優秀作品を第10回大阪マラソンランナー募集ポスターに補正しました。

第10回大阪マラソンのポスター等に使用するメインビジュアル受賞作品



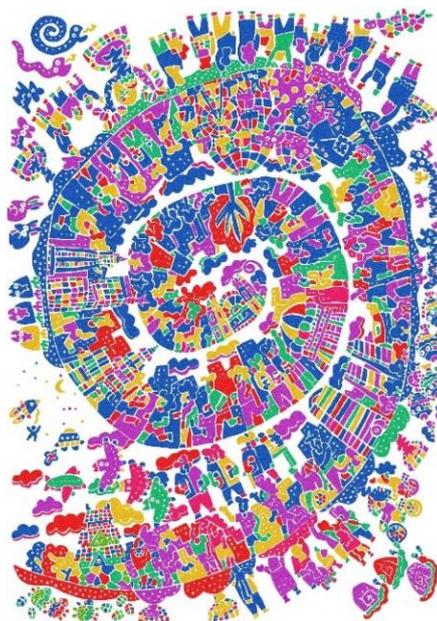
(制作意図)
世界中から様々な人たちが参加し、一体となって楽しんでいる様子や、大阪ならではの人の温もり、活発さを感じられるビジュアルを、温かな色味で描きました。ゴールテープを虹に見立て、ゴールした感動を大会に参加した全員で築き上げることを表現しました。

最優秀作品 藤井 里咲さん



優秀作品 石原 一博さん

(制作意図)
みんなでゴールに向かって走っている姿、お祭りに参加する姿、いろいろな人の思いを表現しました。



優秀作品 中村 勇人さん

(制作意図)
大阪らしい元気が、日本中に広がって行けばとの願いを次へとつなげるクルクルと回る螺旋形状をベースにコースに沿ってテーマを表現しました。